

船橋 YMCA 通信



No.40 2008年1月1日

編集 千葉YMCA船橋地域デポ運営委員会 発行人 榎 一光
〒273-0825 船橋市夏見6-6-6 日本基督教団船橋教会内
電話：(047)425-6366 F A X：(043)222-5061



あけまして

おめでとうございます

今年が皆様にとって良い年になることをお祈りいたします。

千葉YMCA船橋地域デポ運営委員一同

2008年も“地域の触媒”

としての活動を続けます

船橋YMCAは、3年前からチャリティーランに車いすで参加いただいている「船橋市障害者友の会」のメンバーを中心とした障がいを持つ方々のご協力をいただきながら、船橋市内の小中学校の『車いす体験教室』の企画・実行のお手伝いをしています。

この活動は、運営委員6名の非力な組織である船橋YMCAが、地元地域に密着した運動の触媒となって子どもたちに貴重な体験をプレゼントしているもので、今年も続けて行きたいと思っています。

峰台小と船橋中で

障がい体験教室を実施

11月22日(木)と12月14日(金)の午前中に船橋市立峰台小学校(船橋市宮本町6-33-1)で「障がい体験教室」が開かれました。

同じ11月22日(木)の午後には、船橋市立船橋中学校(船橋市夏見2-11-1)で「障がい体験教室」が開かれました。

11月22日の峰台小では、3年生～5年生320人を

対象に「視覚障がい体験」が午前中の時間を使って行われました。参加したボランティアは、社会福祉協議会ボランティアセンター3名、YMCA学院高等学校千葉センターの生徒7名・教師3名の13名でした。



《目隠しをして階段を介助者と下る体験です》

12月14日の峰台小では、3年生～5年生215人を対象に「車いす体験」が同じく午前中の時間を使って行われました。参加したボランティアは、社会福祉協議会ボランティアセンター4名、船橋市障害者友の会5名、車いすダンスグループ矢車草10名、千葉YMCA8名の27名でした。



《車いすで段差を乗り越える体験です》

11月22日の船橋中では、3年生220人を対象に午

後の2時間を使って「車いす体験」と「視覚障がい体験」の双方が並行して行われました。参加したボランティアは、船橋市障害者友の会6名、車いすダンスグループ矢車草6名、社会福祉協議会ボランティアセンター3名、YMCA学院高等学校千葉センターの生徒7名・教師3名の25名でした。



《車いすの操作を習っています》

子どもたちは、いずれも日常では経験できない体験をし、障がい者の生活の一部を理解する事ができた様です。

船橋教会のバザー

11月3日(土)に開かれた日本基督教団船橋教会のバザーに船橋YMCAとして参加しました。



《かわいいお客様にカーボールを売っています》

今回の収益金は11,000円で、この中から船橋教

会献金に1,100円、残りの9,900円とバザーの後に問い合わせのあった絵画の売り上げの4,000円の合計13,900円を国際地域協力募金へ寄付しました。バザーの献品にご協力をいただいた方々、またお手伝いをいただいた方々、特にYMCA学院高等学校千葉センターの生徒5名に感謝します。

船橋YMCA活動記録

船橋YMCAの11月、12月の活動記録です。

- ・11月3日(祝)船橋教会バザー
- ・11月10日(土)そらまめクラブ「あおぞら」
作品：布フェルトをつかってかわいいクリスマス飾りを作ろう！
参加人数：1名
- ・11月17日(土)チャリティーラン評価会
- ・11月18日(日)わんぱくクラブ11月例会
内容：都電荒川線に乗ってグループごとに探検しよう
参加人数：10名
- ・11月22日(木)峰台小・船橋中「障がい体験教室」
- ・11月27日(火)船橋地域デポ運営委員会
- ・12月8日(土)そらまめクラブ「あおぞら」
作品：ホットケーキ作り
参加人数：5名



《「あおぞら」のホットケーキ作りです》

- ・12月14日(金)峰台小「障がい体験教室」

編集後記

YMCAでは“障害”を“障がい”と表記していますが、「船橋市障害者友の会」は団体の固有名詞ですので通常の表記としました。今年もよろしく願いいたします。(横)